

成績順位算定方式の工学部における統一の提案

成績順位は、総合的な達成度を評価した結果として得られる指標のひとつであると認識し、成績順位算定方式を工学部全体で統一することを提案する。1. から 4. で現状の分析、電子通信工学科から提案された変更案の特徴、教務委員会で示された意見の概要をまとめ、5. 以降で提案の内容を記述している。

1. 現状 (P.3の「工学部各学科の成績順位算定方法」を参照)

- 1) 優良可方式：優・良・可を点数化して、単位数による重みを付けて平均する。
 - 2) GP方式：秀・優・良・可を点数化して、単位数による重みを付けて平均、または合計する。
 - 3) 素点方式：百点満点の素点について、単位数による重みを付けて平均する。
- に大別できる。

各方式を採用している学科は以下のとおりである。

- 優良可方式：電気、シ情
- GP方式：C/M、通信（変更案）
- 素点方式：機、機シ、建築、都市、環境エネ

2. 各方式の特徴

方式	優良可	GP	素点
科目ごと評点	3,2,1,0	4,3,2,1,0 (+付加方式も)	100点満点、1点刻み
科目ごと評点の開示	成績表により開示	秀と優の別	素点は未開示
学生による根拠評点算出	可	可	不可
1点の重みの変化	あり	あり	なし
最高・最低ランクの比率	3倍 (3÷1)	4倍 (4÷1)	1.6倍 (100÷60)

3. 電子通信工学科の変更案の特徴

- 単位数による重み付けの平均でなく、合計である。最高点は定まらない。
- 多くの単位を取得するほど有利である。
- 必選の別で重みを付ける。
- 再履修をするたびに重みを低下させる。

4. 電子通信工学科の変更案及び、成績順位算定方法の学部での統一に関して各学科等の構成員から示された意見

- 成績「秀」を導入することに賛成意見が複数あり、強い反対意見はない。
- 成績順位算定方法を学部で統一するべきとの意見と、学科独自でよいとする意見がある。
- 達成度の評価として用いないなら、どんな成績順位算定方法でも良い。
- 必選の別で重みを付けることには、二重の重み付けになる、学際領域の軽視、学問の重要性の点数化である、など反対意見が示された。

- 再履修の場合に重みを下げるなどの案については、二重の重み付けになるなど反対意見が示された。
- 多くの科目を履修するほど有利である方法は、厳選した科目の十分な学習という学部方針に矛盾するという意見がある。
- 電子通信工学科の内部事情があり、この案を実施したい旨の希望が改めて示された。
- 学科の事情を考慮してよいとする意見が示された。

5. 成績順位算定方法を学部で統一するべきか

- 総合的達成度を測る尺度を用いてなされる事項の一つが成績の順位付けであると考ええる。
- 総合的達成度は学部のポリシーが反映されたものとするべきである。
- 学部のポリシーは卒業要件に示されている。
- カリキュラムに関連して、成績順位算定方法を決めている学科はないように見受けられる。
- 統一することにより、転学部・転学科における受け入れ指標として利用できる可能性がある。
- 統一することにより、学科を超えて、学部単位での横並びの成績比較、入学レベルとの比較などに利用できる可能性がある。
- 国際的に認知された方法で総合的達成度を測ることが望ましい。
- このことにより、例えば留学希望学生のレベルの海外大学等への提示が可能となる。

6. 方針案

- 適切な精度で各科目の得点をランキングすること。
- 学則で謳われている卒業要件と矛盾しない総合的達成度評価方法を定める。
- 順位算定の根拠となる総合的達成度を学生自身が算出できるよう、必要な情報を開示する。
- 学習支援を要する学生の把握とケア、成績優秀者の把握とケアを行うために用いる方向で、データ収集を実施し、しかるべき時点で、絶対評価に基づき大学院推薦条件、進級条件・卒業要件等へ利用することを検討する。
- 総合的達成度の評価の枠組みを公開する。

7. 具体的提案

- (1) 2004年4月の入学生より下記各項を実施する。
- (2) 成績に「秀」を導入する。秀：90点以上、優：80から89点、良：70から79点、可：60から69点、不可：59点以下とする。
- (3) 秀(4)、優(3)、良(2)、可(1)、不可(0)を各科目のグレード・ポイント(Grade Point: GP)とし、卒業要件非加算科目を除くすべての履修登録科目についてのGPの単位数による重み付平均であるグレード・ポイント・アベレージ(Grade Point Average: GPA)を算定し、学期ごとに学生に提示する。
- (4) 総合的達成度の尺度としてGPAを用いて成績順位を算定する。
- (5) GPAと入学時の成績との相関、現行の退学勧告レベルとの関係、現行の大学院推薦基準との関係、その他の必要事項について、数年にわたって調査・分析する。
- (6) 上記(5)の調査結果を考慮して、なすべき施策を検討し、必要に応じて実施に移す。

工学部各学科の成績順位算定方法

学科	機械	機シ	電気(就職)	電気(進学)	通信(案)	コン(総合)	コン(専門)	建築	都市	シ情(方式1)	シ情(方式2)	環境エネ
方式	素点	素点	優良可	優の科目 数率	GP	GPA	GPA	素点	素点	優良可	優の数	素点
不合格科目	対象	対象	対象	対象としない	対象	対象	対象	対象	対象としない	対象としない	対象としない	対象
不合格科目の算入方式	素点	素点	マイナス評価	—	登録単位数	登録単位数	登録単位数	素点	—	—	—	素点
連続不合格科目	最新の状況で	最新の状況で	累積	—	累積	累積	累積	最新の状況で	—	—	—	最新の状況で
対象としない科目	非加算科目(教職、特別履修)			非加算+ 教養+体育+外国 語選択	非加算科目(教職、 特別履修)		非加算+ 教養+体育+外国 語選択	非加算科目(教職、特別履修)				
同順位の取扱い	積算順位								素点×単 位の合計	積算順位	良の数、 可の数、 積算順位	積算順位
未着手者の取扱い	記載なし	記載なし	着手者より 下位	対象外	記載なし	記載なし	記載なし	記載なし	着手者より 下位	着手者と 同じ	着手者と 同じ	記載なし
特記事項1	—	—	—	—	—	—	—	—	専門コア 科目は素 点2倍	方式1と方式2の順位 の合計も考慮		—
特記事項2	—	—	—	—	—	—	—	—	分母は基 準単位数	—	—	—

以上